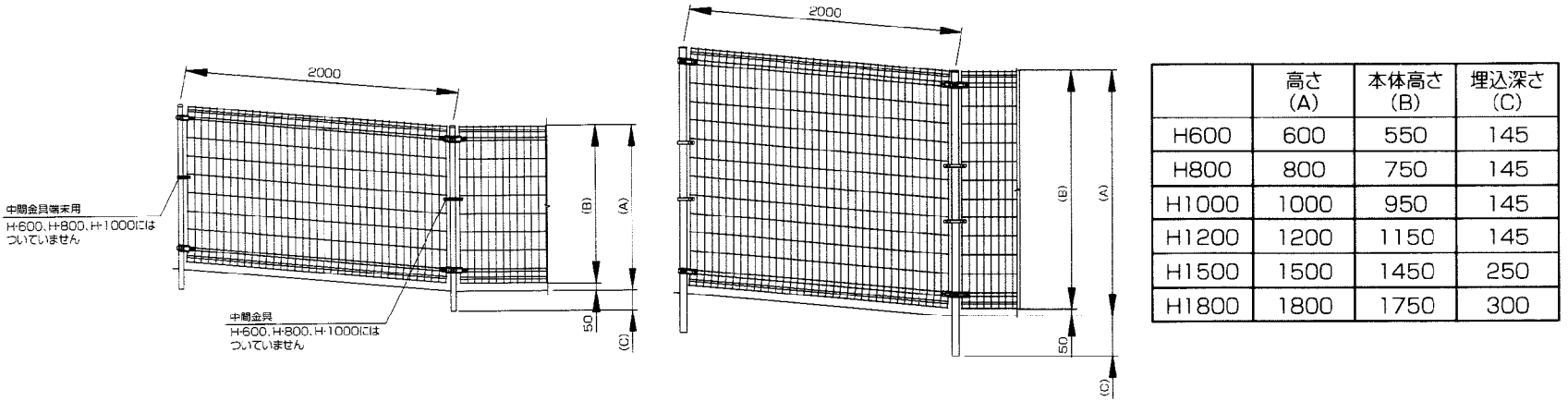


《 施工図 》

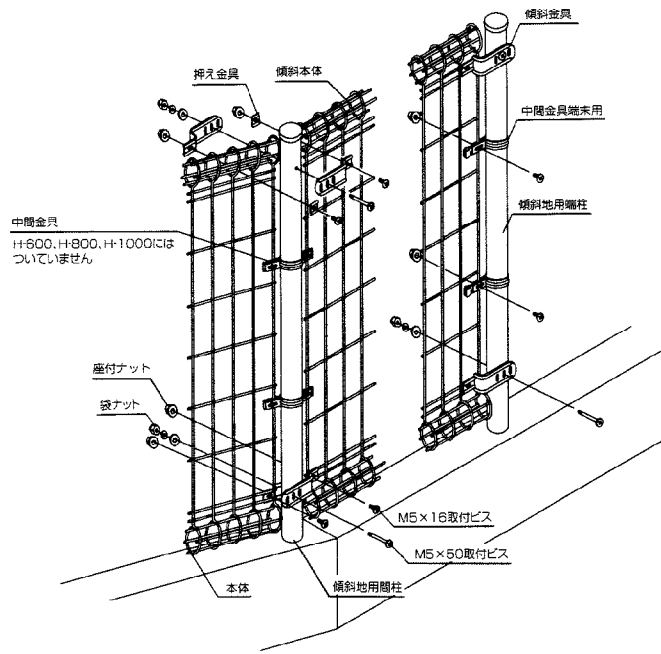


H600~H1200の場合(図はH1200)

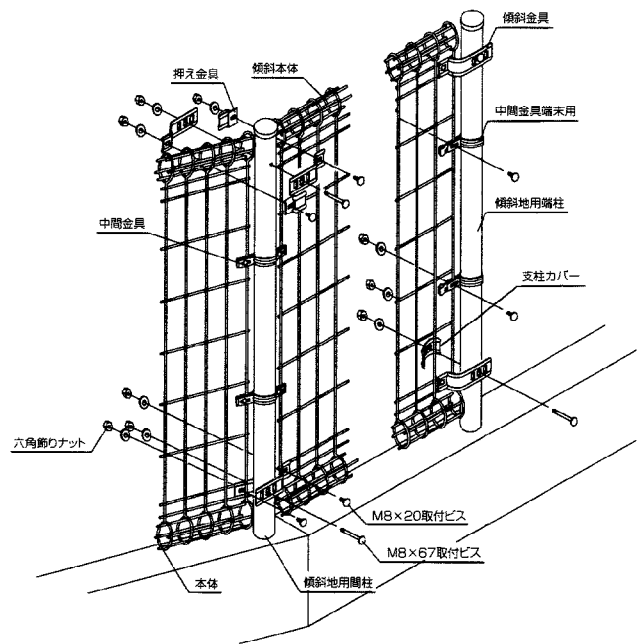
H1500、H1800の場合(図はH1800)

支柱は傾斜面に沿って2,000mm間隔で鉛直に立ててください。2,010mmを超える場合は施工できません。1,990mm未満の場合は、支柱間隔に合わせてフェンス本体を切断して下さい。切断部分には保護キャップ(別売品)を取り付けて下さい。

《 施工要領 》

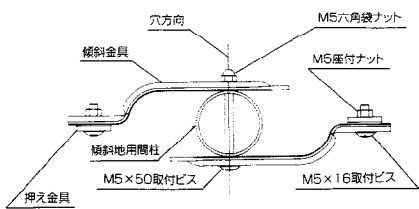


H600~H1200の場合

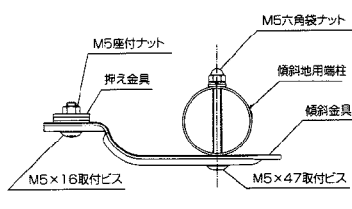


H1500、H1800の場合

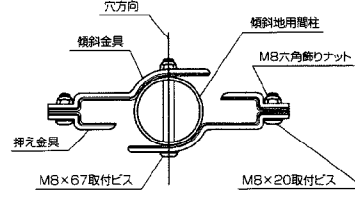
傾斜地用間柱の場合



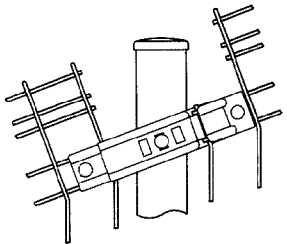
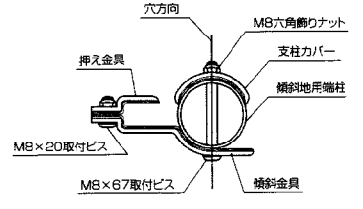
傾斜地用端柱の場合



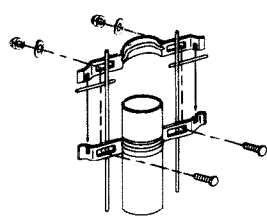
傾斜地用間柱の場合



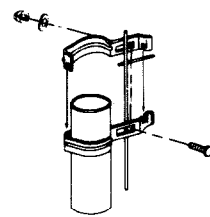
傾斜地用端柱の場合



- 傾斜角度が大きい場合、本体をカットして取り付けして下さい。
- カット部には保護キャップを取り付けて下さい。



中間金具



中間金具端末用

- ・間柱には中間金具、端柱には中間金具端末用を取り付けて下さい。
- H1200 : 1カ所
- H1500、H1800 : 2カ所
- H600、H800、H1000には取り付けません。

※柱を施工する場合、急結剤の使用はさけてください。
 ※組立が終わりましたら、水平・通りを正してモルタル詰めを行ってください。

《 ご注意ください 》 フェンスパネルは上曲げ部に線材は5本 下曲げ部には線材は4本配置されております。

《 確認して下さい 》

- ボルト・ナット締め付けを点検して下さい。
- 施工上の汚れ、モルタルの付着があればきれいにふき取って下さい。